

Beyond the Clinical 2026

第13回
超スマート社会推進フォーラム

「スマートナーシングケア」の社会実装

Session 1 | Vision — スマートナーシングケアの未来を語る
世界をどう変えていくのか、多様な視点からの基調講演

Session 2 | Practice — 現場と技術の最前線
2026年ここまで来ている：現場の課題、最新技術の紹介

Session 3 | Proposal — 現場からの構想提案
看護・医療の専門家が、現場の課題をもとに構想を掲示

Session 4 | Action — とともに動く仲間を見つける
構想をもとに、オープンな対話の場で社会実装をめざす

9/18

Fri

12:30-17:00 (開場 12:00)

17:00 - 18:30 懇親会

参加費無料

場 所

東京科学大学湯島キャンパス
M&D タワー 2 階 鈴木章夫記念講堂
〒113-0034 東京都文京区湯島 1 丁目 5-45

Institute of
SCIENCE TOKYO

共催

SSS 超スマート社会推進コンソーシアム
Consortium Super Smart Society Promotion Consortium



ASPIRE 先端国際共同研究推進プログラム
Adopting Sustainable Partnerships for Innovative Research Ecosystem

Visionary Initiative :
Innovative-Life Society

協賛 (予定) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、IEEE Japan Council、情報処理学会、電子情報通信学会、応用物理学会、計測自動制御学会
後援 (予定) 医学書院、看護理工学会、国際長寿医療・ウェルネス学会、日本遠伝看護学会、日本看護科学学会、日本看護協会、日本看護倫理学会、
日本公衆衛生学会、日本助産師会、日本公衆衛生学会、未来創成ナーシングリサーチセンター (NIReC)、
磐田市、大田区、川崎市、相模原市、目黒区、横浜市経済局、蔵前工業会



フォーラム趣旨

第 13 回超スマート社会推進フォーラム

日本は世界で最も速く少子高齢化が進む国であり、社会を持続的に支えるための課題が急速に顕在化しています。その一方で、課題解決に向けたスマート社会の構築もかつてない速度で進んでいます。しかし、従来型の技術応用だけでは、人々の安全・安心を将来にわたって支え続けることは難しくなっています。そこで今、ナースツイン・妊婦ツインなどのデジタルツイン技術を活用したアプリケーション整備、病院内外における看護の専門性向上と業務効率化、および AI との社会共存を目指した革新的な研究開発が進んでいます。

本フォーラムでは、これらの技術を基盤とした「スマートナーシングケア」の社会実装をテーマに議論します。スマートナーシングケアとは、多領域にわたるリスクを未然に防ぎ、生涯を通じて尊厳ある生活を支え、先回り型ケアによって看護の質を革新し、患者自身の意思決定を尊重するケアの仕組みです。その実現に向け、本学と行政・産業界が連携し、新たな産業エコシステムを創出するための道筋を共に考えます。

当日は、国内外のデジタルヘルス施策や研究動向、看護現場が抱える課題、最先端技術の活用事例に関する最新情報を提供します。

また、参加者同士の交流ディスカッションを通じて、新たな共創の機会が獲得できます。

看護・介護・医療・クリニック・遠隔医療・工学・AI・情報・福祉・自治体・保健・建築・教育・食品・保険・行政・VC・スタートアップ・シンクタンクなど、幅広い分野からの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

プログラム (予定)

演題および登壇者は変更される場合があります。予めご了承ください。

Session 1 | Vision — スマートナーシングケアの未来を語る



橋本 亜希子 (厚生労働省 医政局看護課 看護サービス推進室
地域包括看護推進専門官)

人口減少・高齢化時代の看護サービスを展望する
～看護 DX 推進の動向～



佐藤 大輔 (経済産業省 商務・サービスグループヘルスケア
産業課 課長補佐)

経済産業省の PHR (Personal Health Record) に関する取組



森 臨太郎 (兵庫県 宝塚市 市長)
医療・福祉・介護・保健と地域経済の振興
～たからづかモデルの発展～

Session 2 | Practice — 現場と技術の最前線



藤澤 克樹 (東京科学大学 総合研究院 デジタルツイン研究ユニット 教授)

デジタルツインが拓く『先回り看護』の未来
～現場を変える技術と社会実装～



井桁 洋子 (東京科学大学病院 看護部長)
デジタル化が生み出す、患者と看護師の対話の時間
～看護師本来の役割発揮のために～



Jeung-Im Kim (順天郷大学校 [スンチョンヒャン大学校] 看護学部 教授)
韓国における看護実践の現状：
課題とデジタルヘルスケアへの取り組み



Ingrid Sutherland (メルボルン大学 博士課程院生
ロイヤル・チルドレンズ病院臨床看護コンサルタント (Clinical Nurse Consultant))
オーストラリアのデジタルヘルス戦略への対応
～メルボルンにおける実践と取り組み～



金川 賢一 (富士通 Japan 株式会社
ヘルスケア事業本部第二ヘルスケアソリューション事業部 シニアディレクター)
看護業務の効率化に向けた電子カルテデータの活用

Session 3 | Proposal — 現場からの構想提案



福井 小紀子 (東京科学大学 保健衛生学研究科 在宅・緩和ケア看護学分野 教授)
食べる・暮らすを見守る ～スマートケア実現に向けた産学連携の取り組み～



有馬 継士郎
(味の素株式会社)



澤田 樹里
(東京科学大学 保健衛生学研究科)



谷口 麻希 (東京科学大学 保健衛生学研究科 精神保健看護学分野 教授)
医工学連携 × 子どもの成長 ～“記録”を“物語”に変える社会実装を目指して～



福地 命
(日本電気株式会社)



高瀬 憲児
(日本電気株式会社)



松崎 政代 (東京科学大学 保健衛生学研究科 リプロダクティブヘルス看護学分野 教授)
デジタル × 女性の生涯ヘルスケア
～“孤立する選択”を“生涯の安心”に変えるアプリ共同開発を目指して～



人見 綾
(東京科学大学 保健衛生学研究科)

Networking | (26F ファカルティラウンジ)

軽食・ソフトドリンクをご用意しています。
ネットワーキングをお楽しみください。(先着 100 名様)

Session 4 | Action — ともに動く仲間を見つける

構想をもとに、オープンな対話の場で社会実装をめざす参加型のセッションです。ディスカッションでは、実証条件や連携の可能性を一緒に形づくりします。自分の声が次のプロジェクトを動かす、皆さんが主役の共創の時間です。

